



平成27年11月26日
内閣府（防災担当）

松本 文明 内閣府副大臣のインド出張（概要）について

松本内閣府副大臣は、下記のとおり、インド(ニューデリー)を訪問し、「アジアにおける仙台防災枠組推進に向けたハイレベル会合」に参加するとともに、会合後、各国代表及び機関代表とバイ会談を行いました。

記

- 1 日 程 平成27年11月16日（月）～11月18日（水）
- 2 行 先 インド（ニューデリー）
- 3 出張の概要 別紙1参照

<本件問合せ先>

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)付
小池、武宮

TEL 03-3502-6983（直通）、FAX 03-3581-7510

松本副大臣によるインド出張概要

平成 27 年 11 月 17 日（火）、松本文明内閣府副大臣はインド（ニューデリー）を訪問し、アジアにおける仙台防災枠組推進に向けたハイレベル会合に参加するとともに、会合後各国代表及び機関代表とバイ会談を行った。

1. アジアにおける仙台防災枠組推進に向けたハイレベル会合

（1）主催者：インド政府（次回のアジア防災閣僚級会議開催国）

UNISDR（国連国際防災戦略事務局）

（2）参加国：アジア地域における 9 カ国（※）の閣僚級

（※）中国、インド、マレーシア、韓国、インドネシア、タイ

（過去のアジア防災閣僚級会議開催国）

モンゴル（2018 年のアジア防災閣僚級会議開催予定国）

日本（第 3 回国連防災世界会議開催国）

アフガニスタン

（3）目的：アジアにおける仙台防災枠組推進に向けた政策の方向付け

将来のアジア防災閣僚級会議の方向付け

（4）会合の概要

①各国代表によるスピーチ「これまでのアジア防災閣僚会議を通じて」

松本副大臣より、冒頭パリで発生したテロ行為による犠牲者への哀悼の意を表するとともに、非道卑劣なテロを非難し、インド政府を始め各国と緊密に連携してテロ対策に取り組む旨述べた。その後、東日本大震災の際の支援への感謝を述べつつ、被災地産品については放射性物質検査を行い、情報提供をするなど風評対策を協力を推進している旨発言した。

また、第 3 回国連防災世界会議への参加に対する感謝を述べたのち、我が国として仙台防災枠組をアジア地域で積極的に推進していくために、我が国における統計に関するノウハウを活用するなど各国の統計整備の支援を行う用意がある旨、また、我が国の防災体制を紹介しつつ、世界各国のガバナンス強化に向けサポートする用意がある旨発言した。

最後に来年インドで開催される第 7 回アジア防災閣僚級会合への期待を述べた。

② 討論「アジアにおける仙台防災枠組推進のための方向性について」

松本副大臣より、3月の国連防災世界会議の際に安倍総理が発表した「仙台防災協イニシアティブ」に基づき、アジア地域における各国の防災力の強化が図られるよう、人材育成などの支援を行う旨述べた。

具体的には、仙台防災枠組で定められたグローバルターゲットの着実な実施に向け、我が国の統計に関するノウハウの活用など各国の統計整備への支援を行う旨発言した。また、アジア防災センターなど地域機関の活用を提案し、同センターや内閣府等が来年2月にタイで共催する「アジア防災会議」は、アジア地域での防災ネットワークの充実・強化の観点でも有益であることから各国への出席を働きかけた。

最後に、我が国が国連で提案している「世界津波の日」について、採択に向けた協力をお願いするとともに、国際社会における津波による被害軽減のため、アジア地域でリーダーシップを発揮し、津波の脅威と対策について意識啓発を行う旨表明した。



2. バイ会談

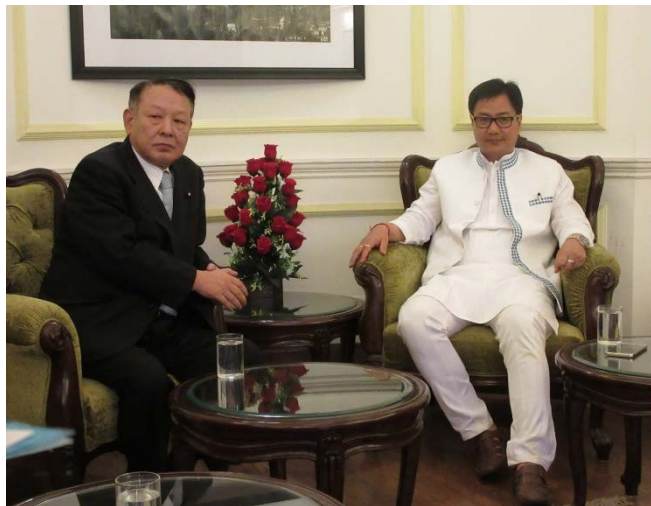
(1) モンゴル ツェレンダン・オヨーンバートル副首相との会談

先方より、過去の日本の災害から得られた教訓や防災における科学技術の活用に関する日本の事例を学びたい旨の申し出があった。また、防災訓練の実施や子ども向けの防災教育に関し、日本のノウハウを活用したい旨の要請があったところ、松本副大臣より、日本における防災訓練の実施や被害想定の設定を例に出しつつ、我が国として研修の受け入れなど積極的に協力したい旨表明した。



(2) インド キラン・リジジュ内務担当閣外大臣との会談

松本副大臣より、東日本大震災の際のインドからの支援への感謝を述べるとともに、原発を有するインドに対し、福島原発の取組を含めた復興の過程はすべてオープンにしているので関心を持っていただきたい旨述べた。また、防災の面でも今般の会議の開催への感謝を述べるとともに、来年2月にタイで開催するアジア防災会議への参加を要請した。先方からは、日本における災害からの教訓などから学び、さらに日印関係を強固なものとしていきたい旨の発言があった。



(3) マルガレータ・ワルストロム国連事務総長特別代表(防災担当)との会談

松本副大臣より、防災白書の英語版概要を手交し、防災の取組の進捗状況を把握するためにも防災白書を他国でもつくるよう働きかけてほしい旨要請した。また、松本副大臣より、グローバル化の時代の中、一国の災害の影響は他国にも影響する旨指摘し、国際社会における防災の取組の推進のため、積極的な活躍を期待する旨述べたところ、先方より、白書英訳版の作成に感謝が述べられるとともに、政策の進捗管理のためにも各国に作成を働きかけたいとの発言があった。また、先方より、日本政府は民間企業との協力関係を築いているので、APEC や OECD などマルチの枠組でも防災を取り上げ、民間企業の防災の取組の推進にぜひ協力いただきたい旨の要請があり、松本副大臣からも協力する旨述べた。



～以上～